

「未来さわやか・・・」

自然と共生する

あぶくま拠点都市」

の実現に向けて④

交流人口の拡大と地域の宝探し

人口減少時代の
なぜ交流なのか

地域づくり

広報おのまち7月号から9月

号まで、小野町の総人口の減少、少子高齢化の現状についてお知らせしてきました。総人口の減少や人口構造の変化によって、地域活力を維持するのは大変困難な時代を迎えていると言っても過言ではありません。

人口減少時代において地域活力を維持する、あるいは活性化する方法として、「交流」の果たす役割・期待は大きなものがあります。

「交流」は、小野町の基本目標の一つに掲げていますが、なぜ交流が重要なのでしょうか。

少子高齢化が進行し、定住人口も減少することで、地域においては、生産・消費の縮小、コミュニティの維持、高齢者の生きがいづくりなど、様々な課題が発生します。

人口の減少による課題に対応するには、交流人口の確保により不足分を補完することで、活力の向上を図ることが必要なのです。

交流人口の拡大は、単に経済面のみならず、人と人のふれあ

